

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
株式に関する お手続き用紙 ご請求について	株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。 TEL 0120-244-479(フリーダイヤル) インターネットアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(ご注意)	株主名簿管理人の「取次所」の定めについて 株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。 なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。
-------	---

単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

2009年1月5日施行(予定)の株券電子化実施に伴うお知らせ

- 特別口座について**
 - 特別口座への口座残高の記帳
株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(2009年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、2009年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。
 - 特別口座に記録された株式に関するお手続き
特別口座に記録された株式に関するお手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関の連絡先にお問合せください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次いたします。
 - 特別口座の口座管理機関および連絡先
●口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
●連絡先
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)
 - 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期
特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、2009年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。
- 株券電子化前後における単元未満株式買取請求について**
株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。
 - 保管振替制度をご利用でない単元未満株式
2009年1月5日(月)から2009年1月25日(日)までは、受付をいたしません。また、2008年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを2009年1月30日(金)とさせていただきます。
 - 保管振替制度をご利用の単元未満株式
株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。
- 株主様のご住所およびお名前のご登録について**
株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機構(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれる場合には、その全部または一部を振替機構が指定した文字に置き換えるうえ、株式名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機構が指定した文字となりますのでご了承ください。

2009年3月期 第2四半期株主通信

2008年4月1日～2008年9月30日

SRAグループは、事業の優位性を活かし ビジネスの発展・拡大をめざします。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
2009年3月期中間期の業績についてご報告させていただきます。

【2009年3月期中間期連結実績】

	2009年3月期中間期	前年同期比
売上高	194億30百万円	△3億56百万円
経常利益	14億55百万円	△2億75百万円
中間純利益	7億11百万円	△2億7百万円

当中間期は、前年同期と比較し、減収減益となりました。

売上高・利益<主な要因>

- ・中核事業会社(株)SRAの「金融系」を除く「産業系」の『開発事業』において、厳しい事業環境の影響を大きく受け、売上高・利益とも前年同期実績を下回る結果となりました。
- ・その他のグループ会社についても業績は、当中間期の計画を下回る結果となりました。特に、国内システム開発会社の業績は厳しい状況で推移し、(株)ソフトウェア・サイエンスにおいては、低採算プロジェクトの影響が大きく、業績は、前年同期実績・計画を下回る結果となりました。
- ・機器販売を主力事業とする(株)AITにおいては、当中間期の計画を達成し、米国の子会社についても業績は堅調に推移しており、(株)SRAを除くグループ会社全体の売上高は前年同期を上回り、粗利益も前年同期実績をほぼ同じ水準で確保しています。

【2009年3月期連結見込】

	2009年3月期見込	前年同期比
売上高	415億円	△35億58百万円
経常利益	35億円	△6億81百万円
当期純利益	18億50百万円	△3億74百万円

下半期は、全業種の顧客においてIT投資抑制がさらに加速し、当グループを取り巻く事業環境も一層厳しくなることは必至と思われるため、通期連結業績予想についても修正しました。

なお、当年度の配当につきましては、従来の予想どおり、1株につき、40円を予定しております。

国内景気は依然として低迷を続けるものと予想され、市場環境がどこまで悪化するかについても現時点では極めて不透明な状況であります。この度は、誠に遺憾ながら下方修正をすることになりましたが、今後も当グループの強みを最大限に活かしながら、株主の皆様ならびにお客様のご期待にお応えできる企業グループを目指し、社員一同、努力邁進してまいります。

今後とも引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年11月

株式会社 SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨

国内はもとより海外においても景気の低迷が続くなか、SRAグループにおける今後の取り組みについて教えてください。

上半期は、米国の金融危機の影響から日本経済も大きな影響を受け、その影響はIT業界にも及びました。今後しばらくは、強い逆風が続くものと思われませんが、そのような状況のもと、当グループは次のような取り組みを開始しました。

(株)SRAでは、金融分野ではすでに各部門の連携による営業活動強化を実施しております。金融以外の「産業系」においても、7月初めに受注増を目的に設置した「産業営業推進本部」を発展的に解消し、10月に4事業部の営業部門を括り、マーケティングとセールスの強化を目的に「産業営業統括本部」を創設しました。産業営業統括本部では、SRAの強みのひとつである、『優良顧客基盤』を活かし、各業界のリーディングカンパニーを中心とした既存のお客様との関係強化と新たな取引拡大に努めております。

また、利益確保のためには、原価のマネージメント強化が必須と考え、①社員一人ひとりの生産性向上②オフショア開発の推進③国内ビジネスパートナーの管理の徹底など様々な施策をグループ会社まで含めた形で実施しております。

下半期以降、このような取り組みを積極的に推進することにより、『確固たる顧客基盤に基づく安定的かつ継続的な受注体制の確立』、『原価管理体制確立による粗利益率向上』を実現してまいります。

第一四半期に海外子会社の売上が10%を超えましたが、海外におけるビジネス展開をどのように考えていますか。

1984年のSRAアメリカ設立以来、米国、ヨーロッパにおいて、日系グローバル企業を対象にビジネスを展開してきましたが、米国系企業とのビジネス拡大もあり、今年度、海外子会社の売上が10%を超えるまでになりました。

また、1995年から進めてきました粗利益率向上の施策である「オフショア開発」も下半期からはインドに加え、中国においても展開することにし、オフショア開発を今まで以上に積極的に進めていく計画です。

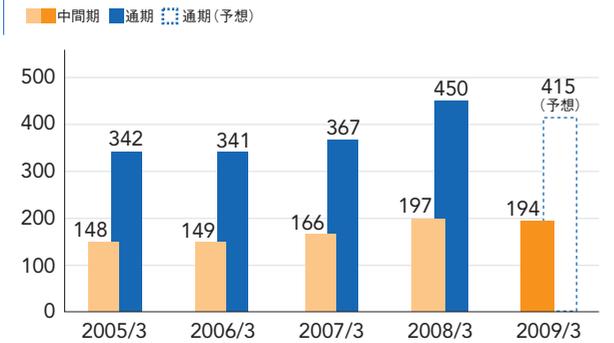
現在、アジアの拠点(インド、シンガポール、中国)は、主に「オフショア開発」のためのものですが、今後は、「市場」としても捉え、SRAの強みである『グローバル・リーチ』、『先進技術力』を活かし、アジアの成長力を取り込みながら、海外ビジネスの売上成長を目指していく考えです。



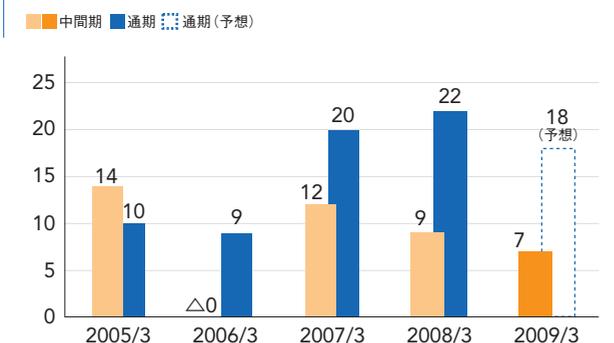
Financial Highlights

財務ハイライト

売上高 (単位: 億円)



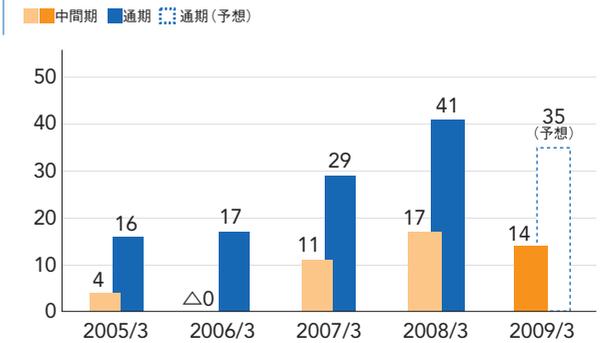
当期(中間期)純利益 (単位: 億円)



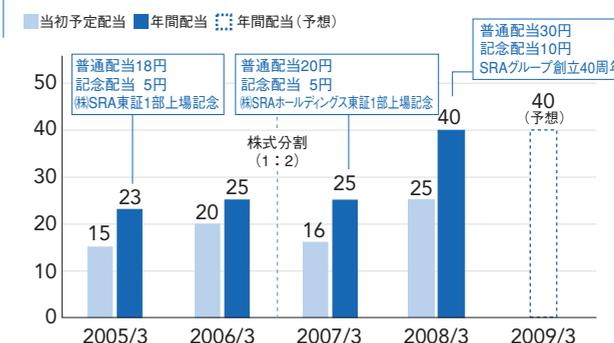
中間期に技術センター売却益9億円を計上しています

(注)1. 2009年3月期予想は、2008年11月に発表されたものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当は当該予想と異なる結果となる可能性があります。
(注)2. 2007年3月期以前は株式会社SRAの連結実績。

経常利益 (単位: 億円)



1株当たり配当金 (単位: 円)



配当性向 [34.5%] [33.2%] [23.7%]* [24.9%] [29.9%]

単体配当性向30%目標 連結配当性向20%目標

*一過性の要因である技術センター売却益を除いて算出。

株主優待制度のご案内

- 1 優待内容** 株主のみならずの日頃からのご支援に対し感謝の気持ちを込め、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。
- 2 対象株主** 毎年9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の方を対象といたします。
- 3 贈呈期間** 毎年11月下旬頃に発送を予定しております。



Shareholders Information

株主さま情報

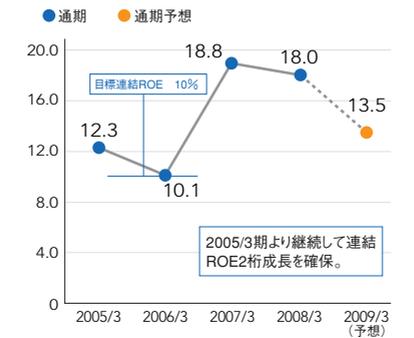
2009年3月期予想指標

連結売上高経常利益率 (単位: %)



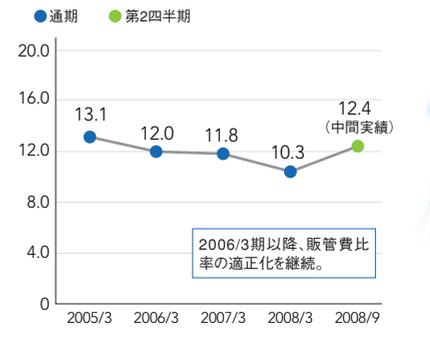
2007/3期より継続して目標経常利益率8%を達成。

連結自己資本当期純利益率(ROE) (単位: %)



2005/3期より継続して連結ROE2桁成長を確保。

連結販管費比率 (単位: %)



2006/3期以降、販管費比率の適正化を継続。

PER (株価収益率) (単位: 倍)



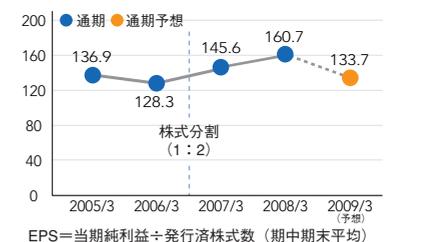
PER = 各期末当社東証終値 ÷ 1株当たり当期純利益

PBR (株価純資産倍率) (単位: 倍)



PBR = 各期末当社東証終値 ÷ 1株当たり期末純資産

EPS (1株当たり当期純利益) (単位: 円)



EPS = 当期純利益 ÷ 発行済株式数 (期中期末平均)

※2009年3月期のPER、PBR、EPSの算出に係る株価は2008年9月期の末日の終値を使用し、収益等は2009年3月期の予想値を使用しております。
※2007年3月期以前は株式会社SRAの連結実績。

株価チャート (単位: 円)



株式会社SRA ◀ ▶ 株式会社SRAホールディングス

どこのメーカー／ユーザーにも属さない「独立系」だから・・・
お客さまにとって最適な選択肢を提供できる!

SRAグループのソフトウェア業界における位置づけ



ハードウェアでもソフトウェアでも、特定のユーザーやメーカーに偏ることなく、中立な立場で真に最適な選択肢を提供することによりお客さまにご満足いただけるサービスを提供します。これは、お客さまにとっての最大のメリットであり、私たちSRAグループの存在価値であると考えています。

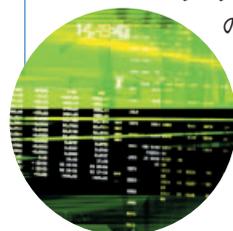
SRAグループの技術

みなさまの身近なところにもSRAグループの様々な先端技術が活用されています。

証券会社

これもコンピュータ!
 動かしているのは、
SRAグループの技術です。

株式をインターネットで売買する時代。高い信頼性が求められる証券会社のオンライン・トレードシステム。大手証券会社のシステムにも、SRAグループの技術力とノウハウが活かされています。



電機メーカー

ここにもコンピュータ!
 動かしているのは、
SRAグループの技術です。

高機能の新製品が次々と発売される家電分野。ビデオカメラ、テレビ、DVDプレーヤー、ゲーム機器・・・。それらのシステムの中枢部分にもSRAグループの先進技術力が活かされています。



銀行

正確性・安定性・高いセキュリティ
 動かしているのは、
SRAグループの技術です。

正確性、安定性、高いセキュリティが求められる銀行のATM。大手都市銀行のATMシステムにもSRAグループの高い技術力と金融分野の豊富な業務ノウハウが活かされています。



SRAグループの3つの強み

SRAグループは3つの強みを活かして中期経営計画の達成をめざしてまいります

3つの強みを活かしてITに求められる「スピード」、「クオリティ」、「コスト」を満たすシステムを提供し、お客様の競争力強化、成長および収益の向上に貢献するよう努めることで、中期経営計画を達成し、株主のみならずのご期待に応えます。



1. 技術先進性

創業以来、「技術のSRA」としての定評があります。最近では、注目度の高いオープン・ソース・ソフトウェア、SOAにおいても技術優位性を確立しています。先進技術を活かした新しいビジネスの創出、新規事業の立ち上げにも取り組み、着実にその成果をあげています。また、品質および生産性の向上にも先進技術を活用しています。

2. グローバル・リーチ

業界に先駆けて海外拠点を設け、アメリカ、ヨーロッパ、インド、シンガポール、中国等の海外ネットワークにより、日系グローバル企業・現地企業のお客さまに対して、高付加価値のグローバルサポートサービスを提供しています。また、収益性の向上を目的に、1995年という早い時期からインドを開発拠点として活用しています。

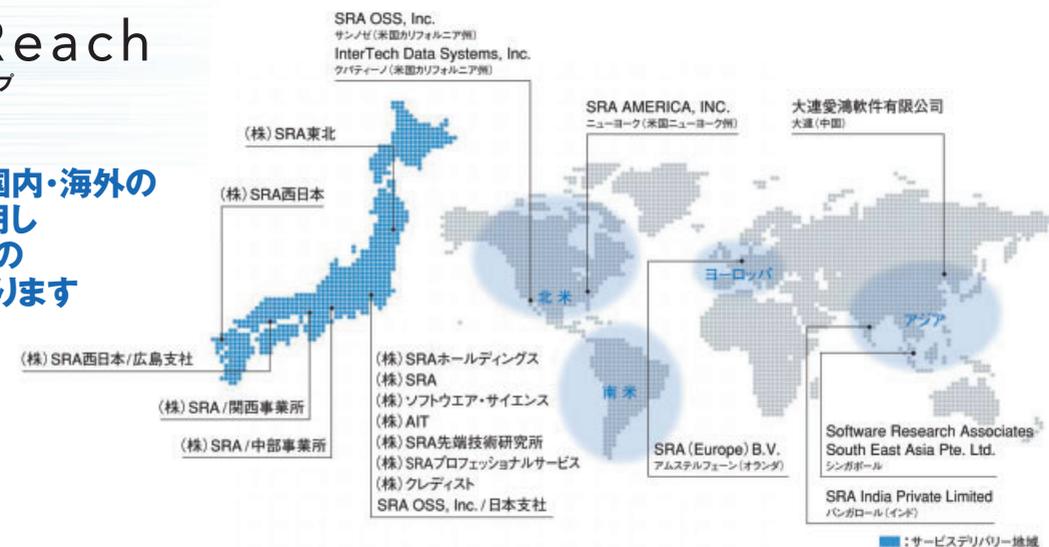
3. 優良顧客基盤

金融、製造、流通等の各業界のリーディングカンパニーを始めとする大企業、中堅企業をお客さまとし、継続的・安定的なビジネスを展開しています。また、IT技術を駆使している新規の優良なお客さまに対しても、案件マネジメント強化と顧客セグメント別マーケティングを実践し、ビジネスを拡大しています。

Global Reach

世界中に広がるSRAグループ

SRAグループは国内・海外のネットワークを活用しグループシナジーのさらなる強化を図ります



「個人投資家向け会社説明会」開催

会社説明会には、多くの個人投資家の皆様にご出席いただき、心より感謝しております。
ご出席の皆様からいただきました貴重なご意見は、今後のビジネス展開等の参考にさせていただきます。

日経ホール	2008年6月28日(土)	(日本経済新聞社)
丸ビルホール	2008年7月13日(日)	(三菱UFJ証券)
東京証券取引所6階	2008年7月14日(月)	(日本証券アナリスト協会)
大和コンファレンスホール	2008年9月1日(月)	(大和証券SMBC)



会社説明会の様子

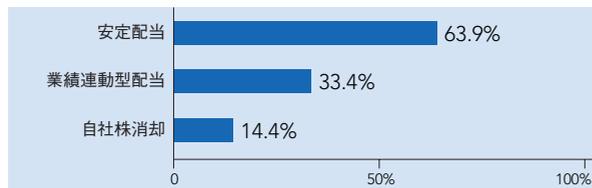
株主アンケートを実施しました

多くの株主の皆様のご意見を伺いながら、いっそう魅力ある企業に成長してまいります。

2008年6月発行の2008年3月期報告書に同封させていただきました「株主さまへのアンケート」に、約800名の皆様からのご回答(回答率30%)をいただきました。アンケートにご協力いただいた皆様へ、心より御礼申しあげますとともに、その結果の一部を掲載させていただきます。

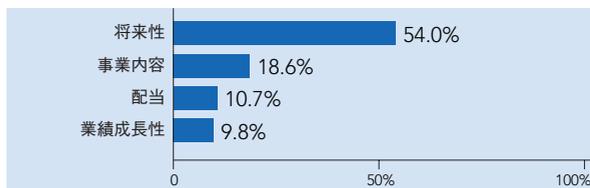
Q1 当社に株主還元策として期待されていることは何ですか?

複数回答可



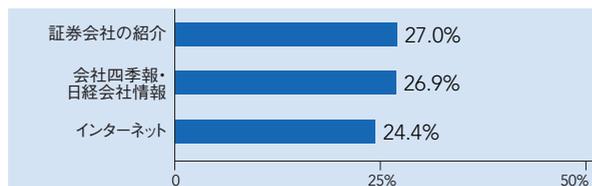
Q2 当社の株を購入された理由は何ですか?

複数回答可



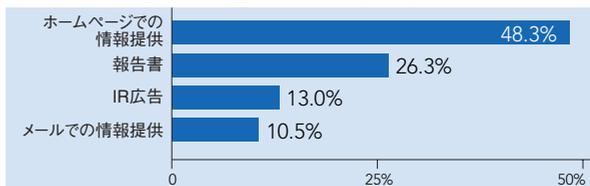
Q3 当社をどこでお知りになりましたか?

複数回答可



Q4 情報提供に関して、充実を希望することは何ですか?

複数回答可



株主さま向けIRメール配信サービスを開始しました。

※ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただきます。当社の厳重な管理の下で保管させていただきます。個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡いただきますようお願いいたします。



社長からのメッセージを株主の皆様にお届けします。
ご希望の方は下記アドレスよりご登録をお願いします。

お問い合わせ先 株式会社SRAホールディングス 管理本部 IR担当 TEL:03-5979-2666

上記3つのトピックスの詳細はこちらでご確認ください。 <http://www.sra-hd.co.jp/ir/>

株式会社SRAホールディングス (連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (平成20年9月30日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	21,395	23,143
現金及び預金	8,880	9,351
受取手形及び売掛金	7,382	8,940
有価証券	1,501	2,003
たな卸資産	2,497	1,740
その他	1,167	1,129
貸倒引当金	△ 34	△ 22
固定資産	4,774	4,824
有形固定資産	232	228
無形固定資産	411	440
投資その他の資産	4,130	4,155
資産合計	26,169	27,967
負債の部		
流動負債	8,712	10,901
買掛金	2,996	3,502
短期借入金	2,799	2,576
未払法人税等	711	1,640
未払消費税等	218	392
未払費用	608	963
その他	1,378	1,826
固定負債	4,232	3,842
社債	300	—
長期借入金	—	10
その他	3,932	3,832
負債合計	12,945	14,743
純資産の部		
株主資本	12,777	12,654
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,519
利益剰余金	8,187	8,029
自己株式	△ 894	△ 894
評価・換算差額等	346	495
その他有価証券評価差額金	351	480
為替換算調整勘定	△ 5	15
新株予約権	70	52
少数株主持分	29	21
純資産合計	13,224	13,224
負債・純資産合計	26,169	27,967

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	【ご参考】	
	当第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
売上高	19,430	19,786
売上原価	15,585	15,751
売上総利益	3,844	4,034
販売費及び一般管理費	2,404	2,332
営業利益	1,440	1,702
営業外収益	63	72
営業外費用	48	43
経常利益	1,455	1,731
特別利益	—	15
特別損失	34	0
税金等調整前四半期純利益	1,420	1,745
法人税、住民税及び事業税	775	921
法人税等調整額	△ 75	△ 97
少数株主利益	8	2
四半期純利益	711	918

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	【ご参考】	
	当第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 405	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 200	△ 329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 341	△ 395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 22	4
現金及び現金同等物の増減額	△ 969	△ 374
現金及び現金同等物の期首残高	11,265	9,919
現金及び現金同等物の 四半期末残高	10,296	9,545

Segment Information

セグメント情報

Stock Information & Corporate Data

株式の状況・会社概要

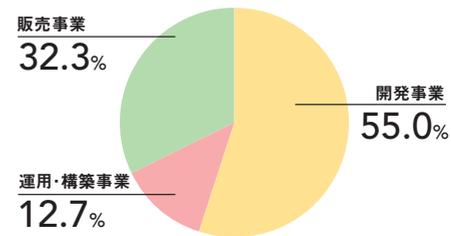
事業別セグメント情報

(単位：百万円)

事業セグメント別売上高の推移

事業セグメント	2009年3月期		2008年3月期	
	当第2四半期	前中間期	前期末	
開発事業	10,679	10,797	24,205	
運用・構築事業	2,471	2,247	4,664	
販売事業	6,279	6,741	16,189	

売上高構成比 (平成20年9月30日現在)



所在地別セグメント情報

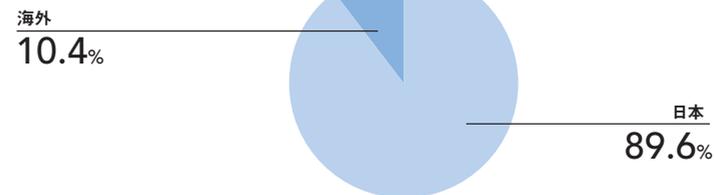
(単位：百万円)

全セグメントの売上高に占める「本邦」以外の割合が10%を超えたため今期から開示しております。

所在地セグメント	売上高
海外	2,021
日本	17,408

世界市場をターゲットにしたオープンソフトウェア(OSS)ビジネスをはじめとするSRAグループの強みを活かしたビジネスならびに日系現地企業を対象にした開発、運用・構築事業を展開

所在地別売上高構成比 (平成20年9月30日現在)



株式の状況

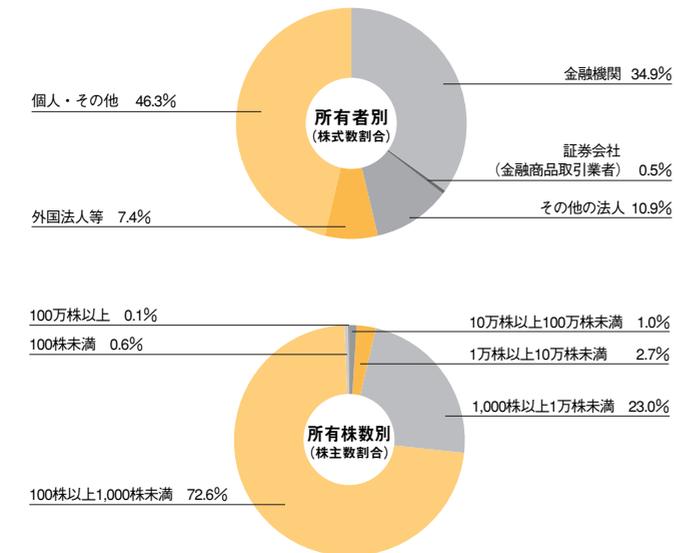
(平成20年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 60,960,000株
- 発行済株式総数 15,240,000株
- 株主数 2,821名

●大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森隆吾	2,189	14.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,801	11.8
株式会社SRA	1,190	7.8
第一生命保険相互会社	564	3.7
SRAホールディングス社員持株会	560	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	557	3.6

●株式分布状況



会社概要

(平成20年9月30日現在)

商号 株式会社SRAホールディングス
SRA Holdings, Inc.
本店所在地 東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日 平成3年1月28日
資本金 10億円
主要な事業内容 開発事業、運用・構築事業および販売事業を営む事業会社の統括管理
従業員数 1,734名(連結)

役員

(平成20年9月30日現在)

代表取締役会長 丸 森 隆 吾
代表取締役社長 鹿 島 亨
常務取締役 谷 野 寛
常務取締役 富 田 博
常勤監査役 室 伏 仁
常勤監査役 小 川 浩
監査役 櫻 井 通 晴
監査役 竹 谷 智 行
会計監査人 太陽ASG有限責任監査法人